

第12回消防用設備等点検報告制度のあり方に関する検討部会 議事要旨

1 日時:令和2年12月15日(火)10:00~11:30

2 場所:WEB会議

3 出席者

(1) 部会員

小林部会長、河野部会員、田辺部会員、佐々木部会員、芳賀部会員、岡田部会員、木原部会員、鈴木部会員、沖部会員、北山部会員、今部会員、野崎部会員

(2) 事務局

消防庁 白石予防課長、桑折課長補佐、千葉設備専門官、羽田野係長、秋山技官、中野事務官、笠水上事務官、田中事務官

4 配付資料

議事次第

委員名簿

資料 12-1-1 第11回検討部会における課題(一斉開放の機器点検方法の見直し)

資料 12-1-2 泡消火設備の一斉開放の機器点検方法の見直し

資料 12-2-1 第11回検討部会における課題(泡消火設備の総合点検方法の見直し)

資料 12-2-2 泡消火設備の総合点検方法の見直し

資料 12-3 消防用設備等点検アプリの現状について

参考資料 12-1 泡消火薬剤の経年劣化試験報告

参考資料 12-2 泡消火薬剤の経年劣化試験について

参考資料 12-3 調理加工と蛋白質変性

参考資料 12-4 一斉開放の点検頻度について

参考資料 12-5 泡消火薬剤のサンプリング検査の点検頻度について

参考資料 12-6 今後のスケジュールについて

参考資料 12-7 消防用設備等点検アプリ広報用リーフレット

参考資料 12-8 消防用設備等点検アプリ使用実態調査報告書(消防庁委託事業)

参考資料 12-9 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた消防法令関係手続における押印の省略等について(通知)

参考資料 12-10 第11回検討部会資料

参考資料 12-11 第11回検討部会 議事要旨

参考資料 12-12 部会員名簿

参考資料 12-13 予防行政のあり方に関する検討会開催要項

5 議事

- (1) 泡消火設備の一斉開放弁の機器点検方法の見直し
- (2) 泡消火設備の総合点検方法の見直し
- (3) 消防用設備等点検アプリの現状について
- (4) その他

6 主な意見交換（○：部会員、●：事務局）

(1) 泡消火設備の一斉開放弁の機器点検方法の見直し

- 今度の検討部会では、一斉開放弁について不具合データをとらえて合理的な点検方法の検討を行ったところであるが、点検基準や点検要領には、不具合に係るデータが揃っていないために、オーバーロードになっている部分もまだまだ他にもあるのではないかと思う。このようにオーバーロードになっている可能性がある設備について、工業会等でデータがあれば出してもらいなどして、今後も検討していくこととしてはどうか。
- 合理的な点検方法となるように引き続き検討していきたい。

(2) 泡消火設備の総合点検方法の見直し

- サンプル検査を実施すれば、今後は総合点検時に泡放射は行わなくてもよいということか。
- そのとおり。継続して消火薬剤の機能を維持するための措置(サンプル検査)が講じられている場合は、泡放射を行うことなく、当該措置が講じられていることを確認することで分布等の点検項目を確認したものとみなすことができる。
- No.3とNo.8の薬剤について、常温保管されたサンプル検査のデータ数は少ないが、少なくとも15年までは同じような傾向が続くという理解でよろしいか。
- そのとおり。なお、常温保管された薬剤が保管されていた環境は、安定した環境であり、一般的に地下駐車場において泡消火薬剤が保管されている環境と同様の環境であると考えられる。

(3) 消防用設備等点検アプリの現状について

- 1000㎡以下でも、グループホームなどはスプリンクラー設備が設置されているところもある。このようなことも踏まえ、資格が必要な点検について今後よく検討してもらいたい。
- ご意見を踏まえ、火災危険性や必要な専門性を整理していきたい。
- アプリの評判はいかがか。
- ファイルの保存先がわかりにくい、メールが使えると良いなどのご意見がある。
- 点検結果報告書をワンタッチで送付できるようにしたいと思うところだが、現在はPDFにしたものをメールで送るということではどうか。
- そのとおり。
- 現在のアプリは手入力することになっているが、近年、写真を撮ることによって様々な情報が自動的に入力されるという仕組みが可能となってきている。今後、点検についても同様の方法を用いることができないかなど検討してもらいたい。
- ご指摘を踏まえて、より使いやすいものを考えていきたい。

(4) その他
＜特になし＞

以上